

2025 年 7 月 25 日 第 1 版

## 研究協力のお願い

この研究は、大阪医科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科大学病院 集中治療部

### 記

研究の名称	本邦における術後患者を対象とした集中治療室 (ICU : Intensive Care Unit) の運営体制の違いによる予後の比較
対象	2015 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間に JIPAD (Japan Intensive care PAatient Database、日本 ICU 患者データベース) にデータ登録された患者さん 16 歳以上 100 歳未満のうち、予定・緊急の有無を問わず、手術を受けられた患者さんの診療記録などを研究に利用いたします。対象症例数は、JIPAD の年次レポートから推定し約 25 万例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 (2025 年 10 月 28 日) ~2030 年 3 月 31 日
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的 : ICU には様々な運営体制があり、集中治療医のみで治療を行う ICU (Closed-ICU)、主治医と集中治療医が共同で治療を行う ICU (Mandatory critical care consultation)、主治医のみで治療を行う ICU (Open-ICU) に分けられます。本研究は、JIPAD から過去のデータを用い、術後患者さんを対象として、Closed-ICU と Mandatory critical care consultation を比較し、ICU の運営体制に関して最適な診療体制を調査することが目的です。  利用方法 : 患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。  利用又は提供の開始予定日 : 研究実施許可日 (2025 年 10 月 28 日)

<b>利用し、又は提供する試料・情報の項目</b>	試料：なし 情報：検査データ、診療記録等
<b>利益相反について</b>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<b>研究者名</b>	
<b>【研究責任（代表）者】</b>	
集中治療部 部長 梅垣 修	
<b>参加拒否の申し出について</b>	
<p>2023年4月1日以降に当院の集中治療室で治療を受けられた方のデータがデータベースに入力されますが、データベース研究で個人の特定が困難なため、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。</p>	
<b>問い合わせ窓口</b>	
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科大学病院 集中治療部 担当者 山崎 紘幸 連絡先 072-683-1221（代） 内線 58209	